

「選ばれる学校になるために」 長万部高等学校長 土屋 靖雅

高等学校では、「地域とつながり選ばれる学校」の実現に向け、より一層の「魅力化」に取り組んでいます。特に今年は、3つの柱として「持続可能な地域連携」「地元食材を活用した商品開発」「学びの継続と自己実現に向けたキャリア教育の充実」を掲げ、小さい学校だからこそできる、生徒一人ひとりに寄り添った教育を大切に、そして着実に実践しています。2年生全員が実施するインターンシップにおいては、地域の皆様のご理解とご協力により、勤労観の醸成に向けた有意義な機会となりました。そして、地域と学びの「つながり」は、9月末に実施した「ここたまひろば」における地元食材を活用した商品開発の販売にも繋がっています。

3年生は進路実現に向け、就職試験や指定校推薦の準備、総合型選抜や共通テスト対策など、全力を尽くしています。その中で、過日行われた、高等学校商業教育フェアに十数年ぶりに参加し、地元食材を活用して開発した商品の販売をしました。この商品は、毛がにまつりでも販売したものをレトルト商品に改良したものです。生徒が選んだ地元の特産品も一緒に販売することで、長万部の魅力発信に努めました。二日間の実習は、お客様や他校生徒との交流をとおして、改めて地元への思いを深める機会となりました。また、ニセコ号における弁当販売も昨年同様に実施しました。試作や改良を重ね、長万部の良さをアピールできました。

1年生も探究的活動を進め、地域の方々との語らいをとおして自身の見聞を広めてきています。今後も探究的な学習を柱とした主体的な学びを推進するとともに、長万部中学校との連携を深め、中高合同講演会や小中高合同発表会の開催、町議会への政策提言など、地域ともに学び考えを発信する学習を継続し、きめ細やかな教育の実践を心がけて参ります。

「地域の子どもを地域とともに育てる」

長万部の未来を創る人材の育成を担う学校であり続けたいと考えています。